

あるから、最も優れた手段であるに違ひない。絞取の行はれる根元である地代、利子、利潤が、この方法で不可能なことにされて了ふかもしれない。人間が理性に依つてのみ動くのであるならば、守勢的抵抗は新しい社會を生み出すに至るかもしれない。然し吾々は理智によつて目的的に計畫された道筋を辿つてばかりは進みはしないであらう。民衆運動はなほ外の力に依つて動かされるに至るものであることを思はずにはゐられない。

それは創造的な人間の衝動の力である。然し吾々は新く衝動の力を認めてゐるものではあるが、決して理智の力を蔑視してゐるのではない。守勢的抵抗主義をも出来るだけ受け入れ、且つその方法を考究しなくてはならないと思つてゐる。けれどそればかりでは本當の運動は起らないことをも吾々は同時に認めてゐるのである。創造的な衝動はどんな風に表はれて来るかは豫測することは出来ない。生命の最も深いところから湧き上つて来るのであるから、思ひも寄らぬ結果を齎らすかもしれない。民衆はこの創造的な衝動の力に知らず識らず動かされて、新しい境遇を出現せしめる時もあるであらう。

従順を如何なる場合にもすべて美德として教へ込んで来た時代があつた。これは主人が奴隷に與へた道徳である。吾々は最早奴隷の道徳を必要としない。必要としないどころではない。盲従は却つて

不道徳と見なされるやうになつた。壓制に對して、徒らに屈從してゐることは、自己に忠實なる態度ではない。反抗も正義より生じ來るとき、社會の上に新しい動力を與へる。絞取されるまゝに任せておくことは、確かに不道徳である。不合理なる壓制に對しては、正當防禦を必要とする。

新く民衆がだん／＼壓迫に對し絞取に對して、自覺し來るにつれ、社會の中に新なる力の動き來ることは確かである。そして其處から思ひ掛けない光景が生れて來るであらう。それは全く豫測することの出来ない創造的な力の發動を見るに至るであらう。社會の發展は一歩々々と徐々なる階段を辿つて、正當な理屈にかなつたやうな行程をとるものであるとは握らない。時には殆んど突然のやうに飛躍することもあるであらう。其處に創造的な生命の神祕がある。吾々のうちにある眞の生命は、あらゆる障礙を押し退けて、冒險的な勇敢なる活躍を呈するに至る時もあるであらう。自覺は實に生命といふ火薬の爆發せしめる口火のやうなものである。ベルグソンは生命の爆發を説いた。生命の創造的な力に深い信頼を吾々は持たう。

『創造的の革命』(Creative Revolution)の著者は言ふ。「労働者の自覺が、今や社會進化の動力の一大中心である。等と、労働者の中か否社會の上に新なる生命が發展しようとしてゐることは確かである。吾々はこの生命を培つて、新なる社會を創造しなくてはならない。

自由社會の創造